資料２

東京大会におけるセキュリティ対策の検討・推進状況について

１．情勢

東京大会におけるテロやサイバー攻撃などのセキュリティ情勢は予断を許さない状況。

また、大会時の大規模地震や、豪雨等の自然災害発生時についても、的確に対応するための備えが必要。

２．主な対策

オリパラ推進本部の下に設置された「セキュリティ幹事会」において「セキュリティ基本戦略」を取りまとめ、東京都や組織委員会と連携し、以下のような各種対策を推進。

①　ドローン対策

大会関係施設等周辺上空におけるドローンの飛行を原則として禁止するとともに、事前広報を含めた多層的な対策を推進。

②　鉄道テロ対策

鉄道事業者が警察と連携し、主要駅における危険物の探知・手荷物等検査を実施。

③　サイバーセキュリティ対策

重要サービス事業者等におけるリスク評価と対策を促進するとともに、サイバーセキュリティ対処調整センターを中心に最新の脅威情報等の共有や事案発生時の迅速な対処を推進。

④　自然災害対策

新型コロナ感染症に配慮した災害対応訓練を実施したほか、多言語による災害情報発信等を推進。

３．大会期間中の取組

○　内閣官房に設置したセキュリティ調整センターにおいて、関係機関間の迅速・円滑な情報共有・活動調整を実施。

○　最新情勢を踏まえた的確なテロ対策・サイバーセキュリティ対策を実施。

○　感染症対策に十分配意するとともに、感染者が発生した場合でも、各種セキュリティ対策が維持できる態勢を確保。